

総合情報基盤センターサービスについて

辻一隆, 島本勝, 木田健, 杉谷賢一, 中野裕司

総合情報基盤センター

[概要]

当センターのシステムは 2011 年 3 月に更新が行われ、情報教育システム、ネットワークサーバ、ネットワーク、SOSEKI 支援システムから構成されています。これらとは別にセンター独自のサーバ群を追加して各種サービスの提供を行っています。

1. 情報教育システム

情報教育システムでは、学部より提供されたパソコン室に情報教育端末(PC)を設置して、学部や学科で行われる PC による講義, 実習に対応しています。各部屋の設置台数は、各部屋の用途替えなどありましたが、約 1300 台が設置となります。また PC 室で講義が無い時間は、自由に学生が PC を利用でき、電子メールの利用から課題やレポートの作成、インターネットによる情報検索に利用されています。

附属図書館や図書分館でも自由に利用できる PC が設置されています。

PC にインストールされるソフトウェアは、フリーソフトウェアを中心に構成しているため、学生個人の PC でも大学の PC と同じソフトウェア環境を構築できます。

有償のソフトウェアとして、数式処理ソフトウェアの Mathematica、ウイルス対策ソフトウェアの日本エフ・セキュア社製「F-Secure」をインストールされています。

PC が設置されている部屋は、下記のとおりです。

[黒髪地区]

| 学部 | 部屋名 | 端末数 | プリンタ数 |
|------------|---------|-------|-------|
| 総合情報基盤センター | 実習室 1 | 97 台 | 3 台 |
| | 実習室 2 | 57 台 | 2 台 |
| 工学部 | 911 教室 | 109 台 | 3 台 |
| 理学部 | 研究棟 601 | 41 台 | 2 台 |
| 全学教育棟 | A302 | 61 台 | 2 台 |
| | B301 | 61 台 | 2 台 |
| | B302 | 61 台 | 2 台 |
| | A403 | 20 台 | 1 台 |
| | A404 | 31 台 | 1 台 |
| | A405 | 31 台 | 1 台 |
| | A406 | 69 台 | 2 台 |
| | A407 | 53 台 | 2 台 |
| | A408 | 53 台 | 2 台 |
| | | B401 | 105 台 |
| 附属図書館 | 館内 | 88 台 | 2 台 |

[本荘・大江地区]

| 学部 | 部屋名 | 端末数 | プリンタ数 |
|------|---------|-------|-------|
| 医学部 | 情報教育実習室 | 127 台 | 3 台 |
| | 図書分館 | 36 台 | 1 台 |
| 保健学科 | A204 | 49 台 | 2 台 |
| | B201 | 33 台 | 1 台 |
| | 図書室 | 4 台 | 1 台 |
| 薬学部 | PC 実習室 | 101 台 | 3 台 |
| | 図書分館 | 15 台 | 1 台 |

2. サイトライセンスのソフトウェア

センターシステムのソフトウェアには、数式処理ソフトウェアの WolframResearch 社製 Mathematica とウイルス対策ソフトウェアの日本エフ・セキュア株式会社製「F-Secure」の2つがあります。どちらもサイトライセンスとなるため、大学所有の PC であれば、どなたでもインストールして使用できます。「F-Secure」については、個人所有の PC にもインストールして使用することができます。

3. ネットワークサーバ

ネットワークサーバには、大きく分けてインターネットサーバとリモートアクセスサーバがあります。

インターネットサーバでは、電子メールサービス用のメールサーバ(gpo)を提供し、登録利用者数は増加傾向にあります。ホームページ用として、「WEBサーバ管理委託サービス」を提供しています。このサービスは、1)サーバ本体のハードウェアを用意する必要がない、2)ハードウェアや OS を管理する必要がない、3)ハードウェア保守費や電気料金の必要がない。そのため、徐々に利用が増えています。なお、このサービスは学部学科が対象となります。

学内で使用するパソコンの時間の統一を目的として GPS 対応 NTP サーバ(Stratum-1)を導入してい

ます。現在、公開している NTP サーバは、この GPS 対応 NTP サーバと同期して、正確な時間の学内提供が可能となっています。

2009年4月からメーリングリストサービス(MLサービス)の提供を開始しました。このサービスは、メールサーバ本体を提供し、ハードウェアを用意する必要がなく、また mailman 運用のため、管理業務が GUI で行えます。なお、ML の投稿メールを管理するために、責任者 1 名を登録する必要があります。

リモートアクセスサーバには、VPN サーバを用意しています。出張先や自宅から学内サービスへのアクセスを提供しています。

提供サービスの一覧は以下のとおりです。

| サービス名 | 提供サーバ | 負担金 |
|----------|--|-----|
| 電子メール | gpo.kumamoto-u.ac.jp | 有料 |
| リモートアクセス | — | 有料 |
| アーカイブ | ftp.cc.kumamoto-u.ac.jp (学内) ftp.kumamoto-u.ac.jp (学外) | 無料 |
| NTP | knights.kumamoto-u.ac.jp | 無料 |
| DNS | 133.95.10.3 | 無料 |
| WEB 管理委託 | — | 有料 |
| ML | kmm.kumamoto-u.ac.jp | 有料 |

4. センター実習室

当センターには、3 階の実習室 1 と 4 階実習室 2 があります。講義で必要とする端末台数が実習室 1 より多い場合は、モニタシステムを利用して最大で 154 台の端末を利用した講義を行うことができます。

設置されているモニタシステムは、サブモニタが端末 2 台に 1 台で設置され、教員 PC や書画の画面をそれぞれのサブモニタに出力できます。また 3 階教員用端末(または 4 階教員用端末)の端末画面を 4 階のサブモニタシステム(または 4 階のサブモニタシステム)へ表示させることができますので、実習室 1 と実習室 2 を教員一人で講義を行うことができます。なお、3 階実習室 1 に設置されているモニタからは、4 階実習室 2 の授業風景を確認することができます。

モニタシステムは、プロジェクタでスクリーンに映すこともでき、実習室 1 のみは、部屋の後方に設置したプラズマディスプレイへも映し出すことができます。

5. プレゼンテーション用プリンタ

プレゼンテーション用プリンタは大判の B0 用紙に印刷することができ、研究活動を紹介する資料作成から研究会のポスター発表用としても利用できます。なお、印刷には時間がかかりますので、印刷を予定している時間が重ならないように事前の申込みが必要となります。利用の際は、まずセンター事務室までご連絡ください。